

ひがし

広報

しらかわ

No. 238

'55 9 / 20

人口の動き

— 8月末住民登録人口から

世帯数	945	世帯
人口	3,767	人
転入	3	人
転出	5	人
出生	4	人
死亡	1	人

先月と比較して 1 人増
 昨年の同月と比較して 6 6 人減

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中部印刷



こうしてできた
わたしの作品

9月1日、東白川小学校で夏休みに作った自分たちの作品の苦労したところや研究したところなど、みんなの前で発表しあいました。

同日は授業参観日でもあり、集まったお父さんやお母さんたちも熱心に発表を聞いていました。

＝写真＝は4年生教室のワークスペースを利用しての発表会のもよう
 —東白川小学校で

—おもな内容

- 交通安全婦人部が発足 P 2~3
- 54年度に使ったお金... P 4~7
- にぎわった商工まつり P 8~9
- 初のゲートボール大会 P 10~11
- 間伐採など見本の展示はじまる P 12
- 村消防操法大会のもよう... P 13
- 小学生夏休み作品 P 14
- 村誌編さん室だより P 15
- トピックス P 16
- けいじ板は P 10~11の下欄

弱者指導をすすめて

交通安全協会
東白川支部に

婦人部会が発足



婦人部会の発足式とあわせて行われた法令講習で講演される加茂警察署・
宮上交通課長 一村民センター大集会室で

加茂地区交通安全協会・東白川支部（古田敬司会長）に、このほど婦人部会が設けられ、八月十九日に村民センターで発足式が行われました。式には、加茂警察署の交通課長さんを迎えて、女性の交通法令講習会も行われ、集まった約百人の女性ドライバーたちは熱心に話を聞いていました。

めだつ県道・市

町村道での事故

昨年、加茂警察署管内で起きた交通事故のうち、人身事故は二百七十件でうち子どもやお年寄り、いわゆる交通弱者の事故が百五件もあり、全体の三九%を占めています。事故発生場所で見ると、国道での事故が減少した反面、県道・市町村道での事故の増加がめだっています。こうした現状から、子どもやお年寄りにいちばん接する

ことの多い女性たちが一丸となって指導して行こうと、今回婦人部会が誕生しました。

会長に村雲さん

約四百人で構成

今回発足した婦人部会の会長には村雲美代子さん（陰地）、副会長に松島あさ多さん（中谷）、村内各地区に二十二人の役員が置かれ、約四百人の会員で構成されています。

会長、副会長とも、これまで交通安全協会東白川支部の理事として活躍しておられ、婦人部の発足にもなる今後の活躍がさらに期待されています。

指導を中心に 意識高揚を図る

婦人部会の活動内容は、地域や家庭の中で子どもやお年



熱心な態度で講習を受ける女性ドライバーたち

―村民センター大集会室で

寄りの指導をして、少しでも交通道徳を知ってもらい、事故にあわないようにするにはどうするか―など、自己防衛についても考えてもらおうというもの。
地道な活動ですが、こうした小さなことが集まり、交通安全意識が高まれば、事故のない明るい村づくりも夢ではありません。
こうした意味からも、今回発足した婦人部会の意義は大きく、その活動に大きな期待

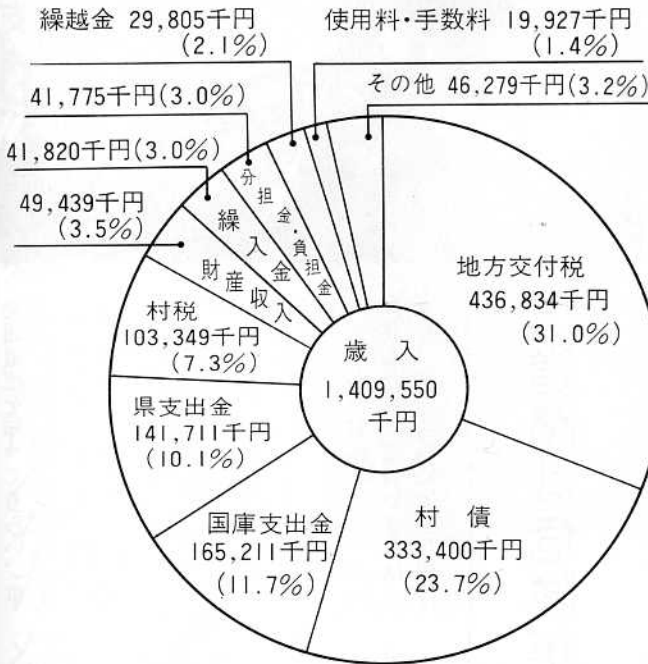
が寄せられます。
◇ 婦人部会の役員は次のみなんです。(敬称略)
会長 村雲美代子(陰 地)
副会長 松島あさ(中 谷)
地区長 田口 澄子(長とろ)
〃 安江 忠子(陰 地)
〃 今井 香代(柏 本)
地区委員
安江八枝子(大口)・栗本房子(平東)・伊藤ますみ(平西)・島倉淑子(下親田)

道路は危険がいっぱい

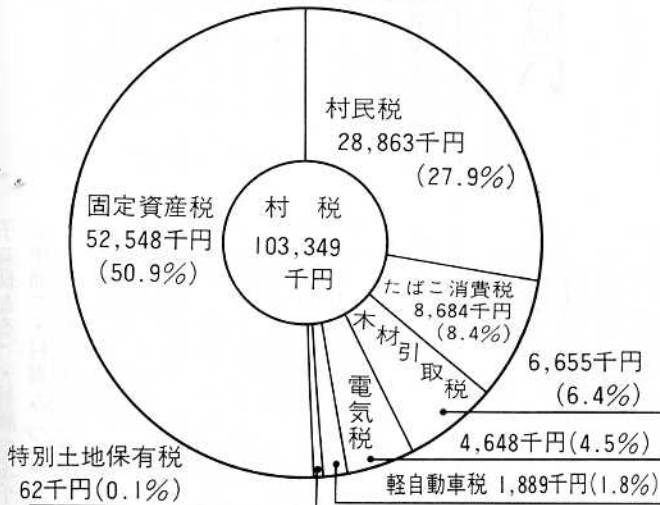
く、道路も国道は通っていないため、スピードの取締りなども行われていません。
幸いドライバーのマナーの良さや全村民の交通安全に対する関心の高さなどに助けられ、交通事故はめずらしい存在にありますが、ひとつ間違えば無法地帯になる危険性を秘めているともいえます。
道路の改良工事も進み、私たちの生活基盤の主軸となつている県道白川加子母線も、白川町寄りには二車線の良い道路になってきました。
こうして、より早く、より便利になっていく反面、スピードの出過ぎやわき見運転など快適さや便利さとはうらはらに、新たな事故原因が生まれることもまぬがれない事実でしょう。
危険性を秘めた運転の可能性は、車を運転するすべての人にいえます。要はドライバー自身の心がけにかかっているのです。
私たちの身近にある道路には「危険がいっぱい」ということを、ドライバーや歩行者みんなが今いちど考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

重点に14億使ったお金

歳入の内訳



村税の内訳



村民のみなさんに、村の財政事情を理解していただくため、年二回村の家計簿を公表しています。

本号では、昭和五十四年度の決算を紹介します。

昭和五十四年度も、地方財政の目安といえる三割自治に達することはできませんでしたが、東白川小学校の建設をはじめ住民福祉の向上をめざした施策を中心に、十三億六千六百万円余りを投じました。

一般会計

・歳入

依存財源が上位を独占

昭和五十四年度の歳入総額は、十四億九百五十五万円で前年度に比べ二・七％伸びています。

例年のように地方交付税がいちばん大きく、四億三千六百八十三万四千円。これは、全体の三・一％にあたります。次いで村債、国庫支出金、県支出金などの順で、依存財源が上位を独占しています。

自主財源が多いほど財政は豊かなわけですが、本村の場合、村税が七・三％、そのほかを合わせても二一・五％でいわゆる「三割自治」よりも低く、前年度より二％余り増

村税の伸び

一五・六％

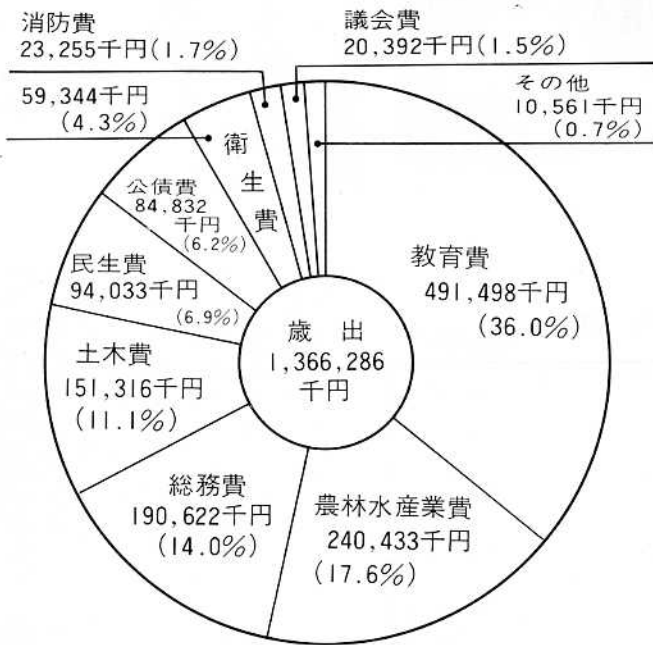
みなさんに納めていただいた村税は、歳入総額の七・三％にあたる一億三千三十四万九千円で、一人当たりになすと約二万七千三百七十円で前年度と比べて一五・六％の伸びを示しています。

加はしていますが、あいかわらず苦しい台所といえます。

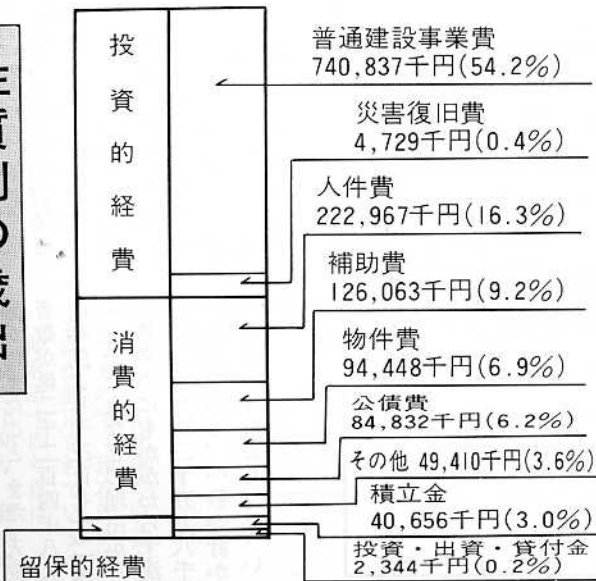
村の家計簿

福祉の向上 54年度に

歳出の内訳



性質別の歳出



● 歳出 ●

衛生費など 大幅な伸びを示す

昭和五十四年度の歳出総額は、十三億六千六百万円。前年度に比べ一一・九%伸びています。

これは、衛生費では病院会計への補助金が増えたこと、教育費で統合小学校建設費が

増えたこと、公債費で村債償還元利金が増えたこと——などがおもな理由です。

厳しい財政下に 積極的な施策

歳出を性質別にみますと、一般家庭で生活費にあたる「消費的経費」が約四二%、公共施設や道路整備など形として残るものへの「投資的経費」は五四・六%となってい

ます。残りの三%余り「留保的経費」というのは、一般家庭でいう貯金にあたります。一般的に、消費的経費の割合が高いほど財政にゆとりがないといわれますが、本村の場合、投資的経費の方が消費的経費を上まわっています。同規模の他町村と比べても投資的経費は比較的高く、厳しい財政下ながら、積極的な施策が行われていることが特筆されます。

54年度の村債は
三億三千四百万円

各種の公共施設建設のために、国や県から資金を借り入れることを村債といっています。昭和五十四年度は、三億三千四百万円を借り入れ、学校建設や道路の開設・改良など、住民生活の向上に役立てています。



53年度から正式に発足した佐見診療所
——白川町上佐見

特別会計

外来収入好転のきざし

佐見診療所も軌道に

——病院事業会計

事業収益の状況

単位:千円

区分	決算額	53年度 決算額	前対 年比	説明	
医業収入	入院収入	15,450	29,025	△ 46.8%	4～8月まで5か月間、常勤医師不在により入院収入が大幅に減少しましたが、外来収入は約37%増加しています。 これは将来の経営好転のきざしとして注目できます。
	外来収入	86,518	63,124	37.1	
	その他	2,011	2,110	△ 4.7	
医業外収入	3,549	3,669	△ 3.3		
国庫補助金	4,720	4,560	3.5		
一般会計補助金	29,358	12,527	134.4		
収入合計	141,606	115,015	23.1		

事業費用の状況

単位:千円

区分	決算額	53年度 決算額	前対 年比	説明
給与費	71,475	62,592	14.2%	臨時医師の報酬などで給与費は伸びました。材料費も、診療内容、件数の伸びなどにより前年度に比べて増えています。 この原因には、変則的な診療体制であったことがあげられます。
材料費	41,996	30,493	37.7	
経費	17,694	11,938	48.0	
減価償却費	4,234	3,525	20.1	
資産減耗費	513	2,911	△ 82.4	
研究研修費	997	526	89.5	
医業外費用	4,727	3,030	56.0	
支出合計	141,606	115,015	23.1	

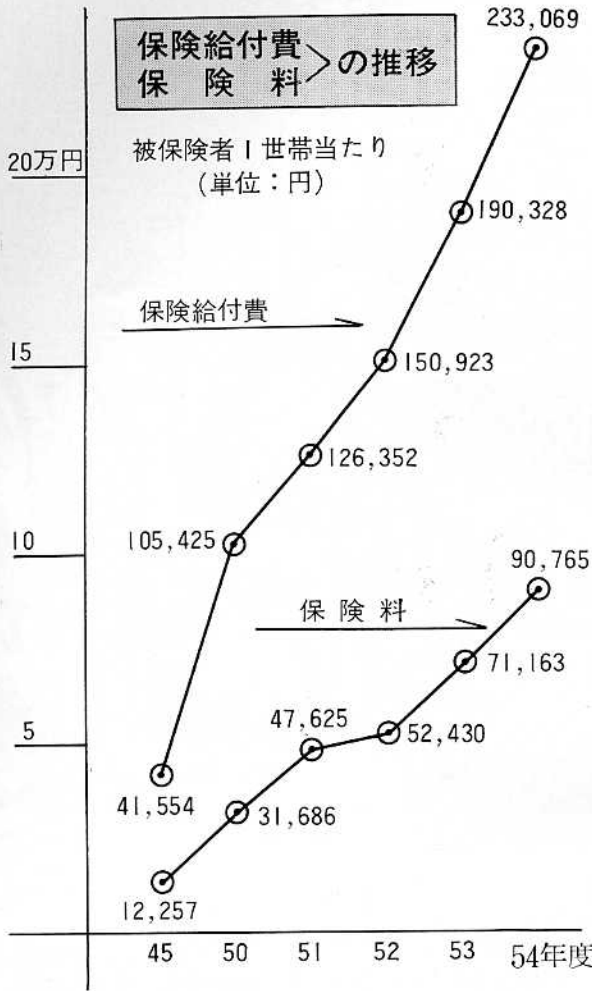
本村唯一の医療機関として、私たちの健康を守ると同時に住民福祉の拠点となっている東白川国保病院の運営経費をお知らせしましょう。
昭和五十四年度は、四月から常勤医師不在となり、岐阜大学病院・下呂温泉病院の協力を得て外来患者の診療を行ってきました。
入院患者の受け入れはでき

ない。という変則的な診療体制が五か月間続きました。九月一日から常勤の張先生を迎えて、ようやく病院運営が正常にもどりました。
前年度から正式に発足した「佐見診療所」も軌道に乗ってきており、実績では、外来患者数が延二万四千四百六十九人で前年より九百六十四人増え、収入の上でも二千三百

万円余り増加しました。
反面、臨時医師に対する報酬が増えたこと、また、入院患者数が延二千二百四十八人で前年度より千三百七十二人減少したことなどの理由から、企業努力にもかかわらず決算では二千九百三十五万八千円の損失を出し、一般会計から補てんする形となっています。

保険給付費は うなぎのぼり

—国民健康保険会計



村の人口の約七割を対象に医療費の七割給付を行っているのが国民健康保険会計です。グラフのように、保険給付費はうなぎのぼり、昭和五十四年度は一世帯あたり二十三万円余りとなっています。この保険給付費は、かかった医療費の七割分ですから、実際の医療費は一世帯あたり三十三万円にもなります。これは昨年度の二十七万二千円に比べ約二二%の伸び、十年前の昭和四十五年度の

五・六倍にも達しているわけです。医療費の増加にともない、みなさんに納めていただく保険料も大幅に引き上げられ、昭和四十五年度の七・四倍と保険給付費を上回る伸びを示しています。昭和五十四年度の国民健康保険特別会計の歳入・歳出の状況は、別表のようになっています。歳入総額は二億五十一万六千円、歳出総額は一億七千八

百四十三万円で、差し引き二千二百万円余りの黒字となっています。

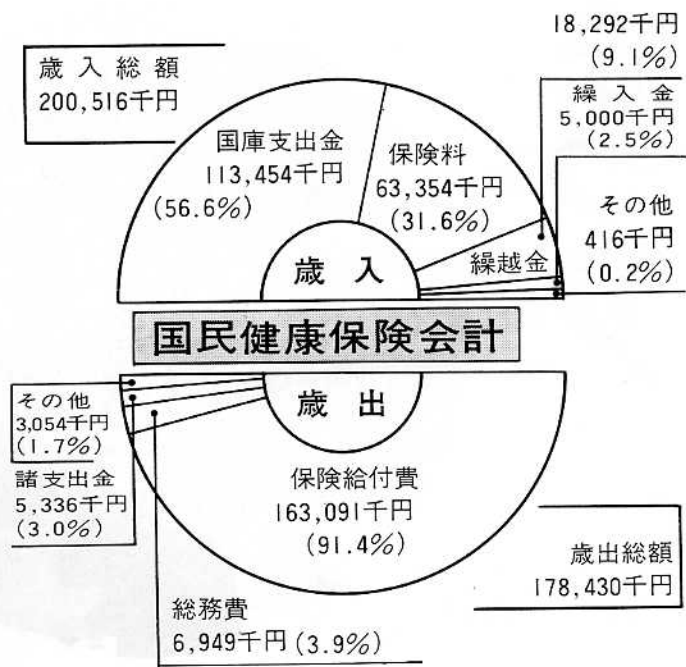
歳入の内訳の中でも国庫支

出金が全体の約五七%を占め、一般会計同様、依存財源に頼らざるを得ない苦しい背景がうかがえます。

賃金など13万
分収造林会計

分収造林は、村が契約によって民有林に造林を行い、伐

採時に一定比率で収益を分け合うもので、現在四か所三十五畝が設定されています。昭和五十四年度は、この分収造林の下刈り、賃金など管理費に十三万三千円を使っています。



カメラレポート

歌謡シヨ一や
モデル撮影も

にぎわった“商工まつり”

第五回商工まつりが、八月十五・十六日の両日、役場前広場で行われま
した。地元唯一の音楽グループ、リバースによる演奏会、歌手の湊めぐみ
さん、県三郎さんによる歌謡シヨ一、美人モデルを写そう——と題した撮
影会、天才クイズ、芸能発表会、すいかの重さあて——など、なくさんの
催しが盛り込まれ、両日大勢の人出でにぎわいました。



越原の小学生ら8人によるこども太鼓もみごとな腕をひろうしてく
れました
——特設ステージで



答えは「イエス」「ノー」
村民センター前で行われた天才クイズ



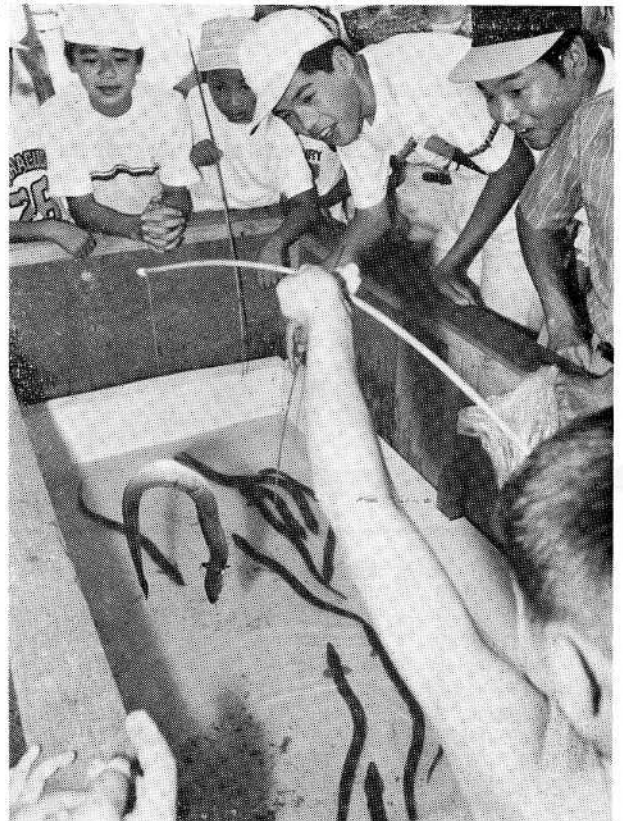
歌手の湊めぐみ・梶三郎さんも来村、自慢の声
で聴衆を魅了

—特設ステージで

ワーイ つれた つれた!
こどもたちの人気を集めたうなぎつり

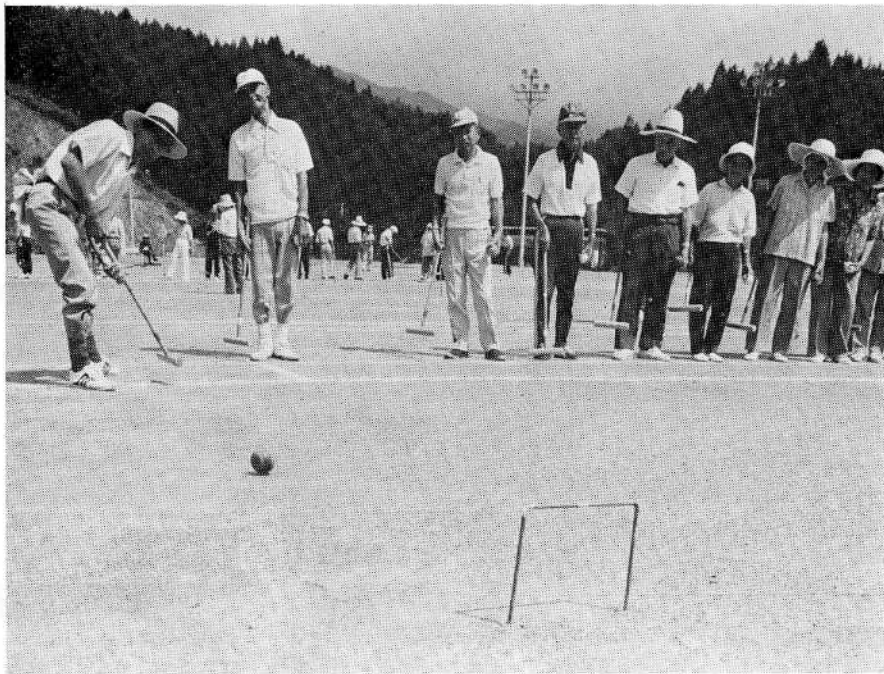


美人モデルを写そうと題した撮影会のもよう
—農協前の池で



鮮やか「スティック」さばき

お年寄りら 初のゲートボール大会
60人が参加



ゲートボールを楽しむ老人クラブ員ら

—総合運動場で

村老人クラブ連合会主催の第一回ゲートボール大会が、八月二十七日、総合運動場で行われ、老人クラブ員ら六十人が参加。優勝をめざして熱戦を繰り広げました。

五点で「上がり」

点多いチームが勝ち

ゲートボールは、最近全国のお年寄りの間でブームを呼んでいるスポーツで、コート（十五メートル×二十メートル）の中でゴルフクラブと同じような長い柄の「つち」（正式にはスティック）を使って、木かプラスチック製のボールを打ち、三か所に設けられた幅二十二センチのゲートを順にくぐらせ、中心のボール（ゴールボール）にあてるというもの。

得点は、一つのゲートをくぐるごとに一点、ゴールボールに当てると二点が加えられ合計五点で、その人は「上がり」になります。試合時間は三十分で、終了後得点の多いチームが勝ちということになります。

九チームが熱戦

優勝は寿会 A

当日参加したのは村内の四つの老人クラブ（寿会三チーム・明青会三チーム・常

けいせいぼん

■戸籍の窓（八月）



誕生おめでとう
ございます。

（平）田尻下孝夫（男）
智恵子（二女）

（大沢）今井 守（男）
直子（長男）

（大沢）今井 政信（男）
恵美子（長女）



おくやみ
申しあげます

樋口 孫八 79歳（中谷）

■先月の訂正とおわび

先月号の出生欄で誤りがありました訂正しておわびします。

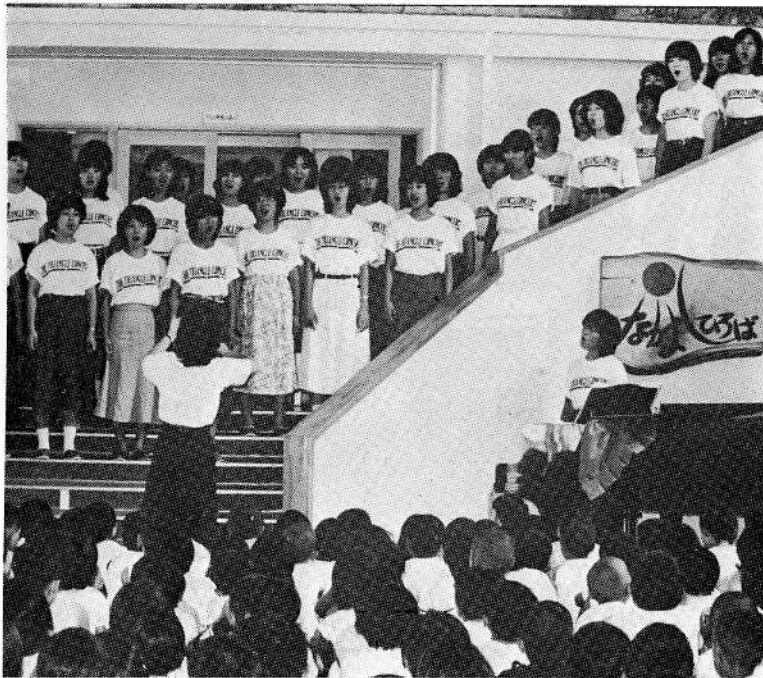
◎今井修輔↓今井修輔

◎田口明世↓田口明世

■十月は郵便貯金月間

—郵政省だより

郵便貯金は、創業以来住民の「くらしの中の貯金」として、厚い信頼と幅広い支持のもと堅実な歩みを続けています。



磐会一チーム・福寿会二チーム)から合計九チーム。総合運動場に作られた三つのコートで日ごろの練習の成果を競い合いました。各チームとも、これまで何回か行われた講習会で基本やルールを学んだ人がほとんどでした。参加チームの中にはこの大会に備え連

日練習したというところもあり、ステイックさばきも鮮やかで、なかなかの接戦になりました。午前九時三十分に入場した試合は、昼食をはさんで約四時間三十分の長時間にわたって繰り広げられ、寿会Aチームが優勝しました。

礼儀正しく 和やかなムードで

初の試みとして行われたこの大会では、試合前・後の整列をはじめ、自己紹介や競技後に健闘をたたえ合っている握手など、礼儀正し

さや親ほくを深める和やかなムードがただよっていました。村老人クラブ連合会では、今回の大会をきっかけに、さらに技術をみがき、今後もっとゲートボールを広めるとともに大会も増やして行きたい。と意欲的です。

美しい歌声をひろく

名女大
合唱ク
東白川小を訪問

八月二十七日、名古屋女子大学の合唱クラブのメンバーら四十人余りが東白川小学校を訪ずれ、美しい歌声をひろく、子どもたちを楽しませてくれました。同クラブは、越原温泉学舎での夏季研修に来村。在村中の行事として東白川小学校を

美しい歌声を聞かせてくれた名古屋女子大学合唱クラブのメンバーたち

—東白川小学校で

訪ずれたもので、これまでにも旧越原小学校など何回か訪ずれています。当日は、なかよしひろばから食堂棟へ通じる階段を舞台に、わらべうたをはじめ数多いレパートリーの中から選んだ十曲余りを、約一時間におたり美しい歌声でつづつてくれました。なかよしひろばに集まった全校児童ら三百四十人余りは、雑談一つせず真摯な態度で聞き入っていました。

けいじん

また、預けられた貯金は国の財政投融资の柱として活用され、本村へもこれまで六億円余りが融資されており、私たちの暮らしと関係深い道路や学校の建設など住民福祉の向上と経済成長に役立てられています。郵政省では、こうした郵便貯金の働きを広くみなさんに知ってもらおう。と、十月を「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」と定め、運動を展開します。とくに、十月二十五日から三十一日までを郵便貯金週間として、全国各地の郵便局でいろいろな行事が行われます。私たちもこの機会に、郵便貯金についての認識をより深めたいものです。

■歌会始のお題は「音」

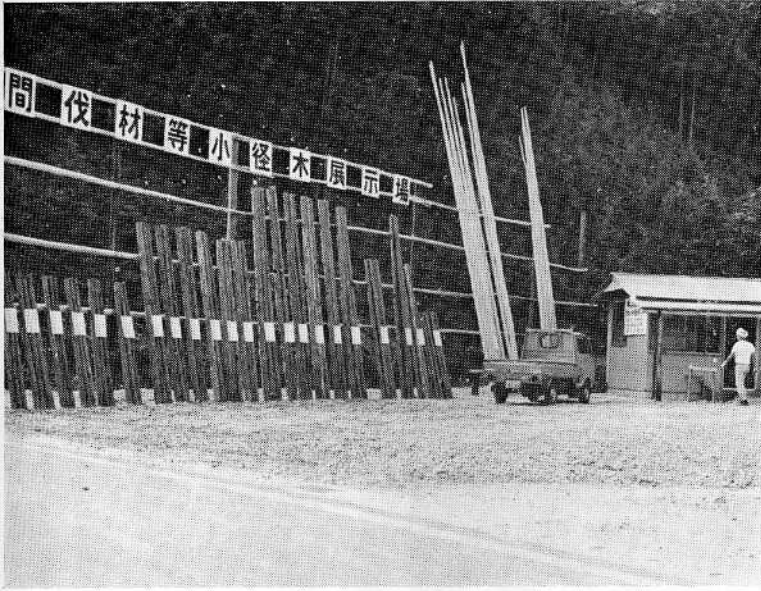
昭和五十六年歌会始のお題は「音」(おと・おん・ね・響き)などと詠んでも差しつかえませんがと定められました。

詳しくお知りになりたい方は、役場の総務課企画財政係(有線二一八五番)へおたずねください。詠進要領をお送りします。

森林づくりの一助に

木材市場で 間伐採など見本を展示

森林に活力を与える間伐をしましょう。の sloganのもと、県森林組合連合会主催の、間伐材など小径木展示会が、九月一日から本村の森林組合木材市場（林産物共販所）で行われています。



間伐採など小丸太の見本展示が始められた森林組合木材市場

優良材生産は 不良木除去から

村内の山林は、全体の約六五%が植林され、東濃ヒノキの産地づくりが進められてきました。とくに、戦後二十、三十年代に植林された山は、二十、三十年生の林となり、除伐や間伐を行う時期を迎えています。

優良材を生産するためには枝打ちのほか、除伐や間伐を行うことが大切です。混みすぎのため生長の悪くなった場所の不良木を除去し、生長を促進させることは価値ある森林づくりの第一歩といえるでしょう。

費用のかかる管理 小丸太で収入を

ところが、実際には除伐や間伐など管理作業には相当の労力や経費がかかります。そ

こで問題として出てきたのが、間伐材で収入を——ということですが、

これは、貴重な木材資源を生かすという意味からも大切なことで、間伐材など小径木の流通を円滑にし、需要の拡大をはかることが大きくとりざたされるようになってきました。

こうした中で、今回、県の指導と援助のもと、間伐材など小径木の見本が森林組合の木材市場に展示されることになり、九月一日からスタートしています。

価格など標示 展示は三月末まで

展示品には、規格・等級・価格など、森林所有者をはじめ一般利用者のみなさんにも知っていただけるよう標示が付けられています。森林組合では、森林づくりに役立てるとともに収入にも結びつく間伐を見直し、また、利用者のみなさんには小丸太の利用について考えてほしい——と話しています。

展示会は来春三月末日まで続けられる予定で、いつでもだれでもご覧になれます。

お酒と女性

近ごろはお酒を飲む女性が増えています。ビヤホールで大きなジョッキを傾けている女性も少なくありません。が「お酒をちょっとでも飲むと、胎児はアルコールづけになりますよ」と妊娠婦に警告しているのは福井県坂井町の町立三国病院産婦人科医長の新美洋代さん。

アルコールが妊婦に及ぼす影響の研究を続けて十数年になる新美医長は、三百七十二人の妊婦を調べたところ、多くの胎児がアルコールに浸っているという実態がわかったそうです。

清酒で毎日一合以上飲んでいる婦人は十七人（四・六%）、週一回以上という人が百三十五人（三六・三%）もいました。分子構造の簡単なアルコールは、タンパク質などと違い、胎盤をあっさりとお通すため母体の血中のアルコール濃度は、胎児のそれと同時に同時数値を示すということ。とくに、妊娠三か月までの影響が心配されています。

季節の話題

季節の話題

第16回村消防操法大会

自動車部 第3分団が優勝

可搬は第5ポンプに栄冠



来年度の郡大会出場権を獲得した第3分団自動車ポンプのメンバー

——総合運動場で

第十六回村消防操法大会が八月二十四日、総合運動場で行われ、自動車ポンプ二台、小型動力ポンプ十四台が参加し日ごろの訓練の成果を競い合いました。

ことしの大会は、来年度の第二十五回加茂郡消防操法大会(自動車ポンプの部)への出場ポンプ選考も兼ね、消防団員の操法技術の向上と土気の高揚を図り、あわせて万一の火災時の適切な活動を確保することがねらいです。

当日は好天に恵まれ、出場した各ポンプとも最高のグラウンドコンディションの中で力いっぱい操法を展開しました。

小型動力ポンプの部は、放水六

十秒、収納百秒の厳しい基準タイムの中で、適切です速い操作、行動、土気などを競い合うもので、第三分団第九ポンプの操法を皮切りにいずれも優秀つげがたい操法をひろうしました。

小型動力ポンプに引き続き、ことしの大会の主役ともいえる自動車ポンプの操法が行われました。自動車ポンプの部は、来年度の郡大会出場権がかかっているため、第一、第三分団とも総力を結集して練習に励んできたもので、両ポンプの応援にも熱がこもっていました。

全ポンプの操法終了後、役場の総務課長を審査長とする六人の審査員による厳しい審査の結果、次のように決まりました。

- (小型動力ポンプの部)
- 優勝 第一分団第五ポンプ
- 二位 第三分団第十一ポンプ
- 三位 第一分団第三ポンプ
- 四位 第三分団第九ポンプ
- 五位 第一分団第一ポンプ

(自動車ポンプの部)

優勝 第三分団自動車ポンプ (郡大会へ出場)

日本人に胃ガンが多いことは有名ですが、ガンだけでなく胃炎や胃潰瘍など、日本人は胃腸病にかかりやすいようです。これは、今までの食生活が原因と言われています。

年とともに胃腸も衰える

胃腸病にかかった人を年齢別に調べてみると年とともに増加傾向にあります。

これは、

年とともに胃液を分泌する胃腸が少くなっていくためです。

暮らしと健康



胃腸を丈夫にするには……

- 四、食事と食事の間隔を十分置くこと。
- 五、睡眠と入浴は胃によいこと。

胃腸病を予防しよう

どんな病気でも発病する前にできるだけ予防することです。また、発病したならば、軽いうちに治療することが大切

① 日常生活でのおこなったポイント

- 一、急に食欲が落ちたり食事の好みが変わらないか。
 - 二、便の回数、硬さ、形色など便通に変化はないか。
 - 三、体重が急に減ってきかないか。
 - 四、腹部の痛み、押し当てたときの痛み、しこりはないか。
- 食生活の心がけ
- 丈夫な胃腸を保つためには、年齢的な胃腸の衰えを忘れないとともに、きちんとした食生活が大切です。普段から心がけ誘惑に負けないようにしましょう。
- 一、食べ過ぎないこと。
 - 二、バランスのとれた食事をとること。
 - 三、よくかんで食べる



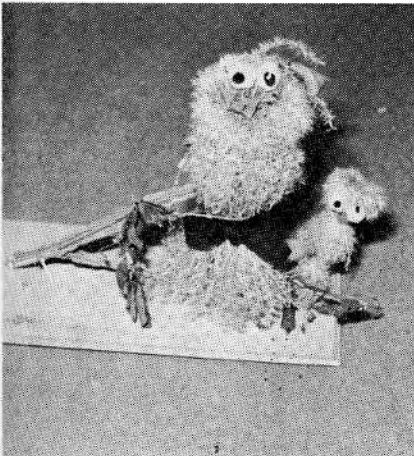
— くまのぬいぐるみ —
四年 村雲ルミ



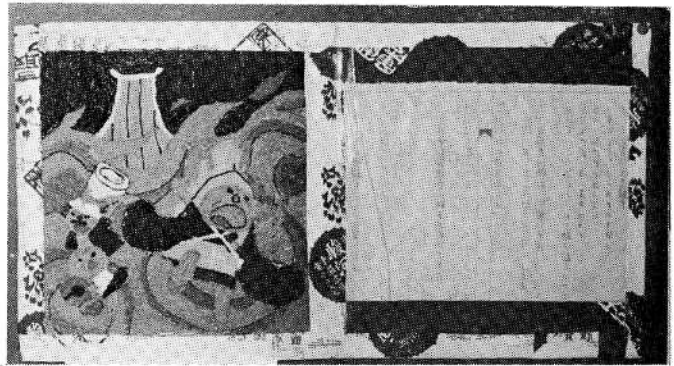
— どれもん非常用 —
六年 今井公彦

うまくできたかな
小学生夏休み作品から

— くさにんぎょう —
3年 早瀬功助



— 一本 —
五年 高木しのぶ



暮らしのカレンダー

＊乳児検診

- ・とき 9月26日
(受付) 午後1時～1時30分
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 S54.3.1～55.3.31生まれの乳児

＊献血

- ・とき・ところ
- 9月27日 { 11時～12時30分 役場前
2時～3時 五加公民館
- 10月2日 { 11時～12時30分 役場前
2時～3時 旧越原小上校舎
- ・採血基準 満16歳以上65歳未満の人で体重が男子45kg以上、女子40kg以上の健康な人

＊第4回歌舞伎公演

- ・とき 9月28日 正午開演
- ・ところ 東白川体育館
- ・年中行事として定着してきた郷土歌舞伎の公演も、ことしで4回目です。多数おでかけください。

＊三種混合予防接種

- ・とき 10月3日 午後1時30分～2時
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 S51.10.4～53.9.30生まれの未接種者と追加

＊妊婦相談

- ・とき 前期…10月7日 午後9時～
- 後期…10月14日 午前9時～
- ・ところ 母子センター
- ・対象者 妊娠前・後期の人

＊小児マヒ生ワク投与

- ・とき 10月17日 午後1時30分～2時
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 S51.10.8～55.6.30生まれの者

＊狂犬病予防注射

- ・とき 10月21・22日
- ・ところ 村内15会場
- ・費用 登録 1,500円 注射 1,300円

＊婦人ソフトボール大会

- ・とき 10月26日
- ・ところ 総合運動場
- 多数ご参加ください。



今井麻里(まり)・通裕(みちひろ)くん

3歳8カ月・1歳5カ月

下野 今井直美・幸美さん長女・長男

—(まり)いつも弟にいじめられます。でも写真とってもらうときはイイ顔で。



松岡 芳樹(よしき)くん 11か月

陰地 松岡洋一・成子さん三男

—ワァーはずかしい。あんまり見ないでヨ。

伝説と民話



—村誌編さん室だより

村誌編さん室だよりも第三部目になり、本号からは村に伝わる伝説と民話を掲載します。この伝説と民話は、来年度刊行予定の通史編に掲載される予定です。

第一節 伝説・民話

一、伝説

五介の滝(その一)

五加の久須見から白川町黒川へ通ずる峠(大野峠)の手前一キほどの谷合に、高さ三ミくらいミの小さな滝があるが、ここは昔から伝説「五介の滝」として知られている。

話は今からおよそ三百年前、当時恵那郡の蛭川と福岡の境の山の中に五介という盗賊が住んでおり、領内の村々から苗木藩主に納める年貢や金品を略奪していた。

このため、苗木藩では討手(うって)を練り出して五介を捕えようとしたが、彼は鎖鎌(くさりがま)の名人で手下も多く、なかなか捕えることができない。

そのうち、五介は一時姿をくらましたミが、今度は黒川の峠を越えた五加久須見の山合にある滝の近くの岩窟に山寨を構え、多くの手下を使って

近郷の村々を襲い、民家の財宝をかすめたり行路者を脅迫して金品を奪うなど、荒しまわっていた。

住民たちの恐怖は大きく、人心は恐々として不安な毎日が続いた。

ちょうどそのころ、隣の黒川村中之平の岩手という家に又右衛門という鉄砲の名人がいた。

彼は、通称「岩手の又衛」とも呼ばれ、幼少のころから鉄砲が好きで、長ずるにつれてその技術がすぐれ、なお修業に専念していた。

(つづく)

未来の主役

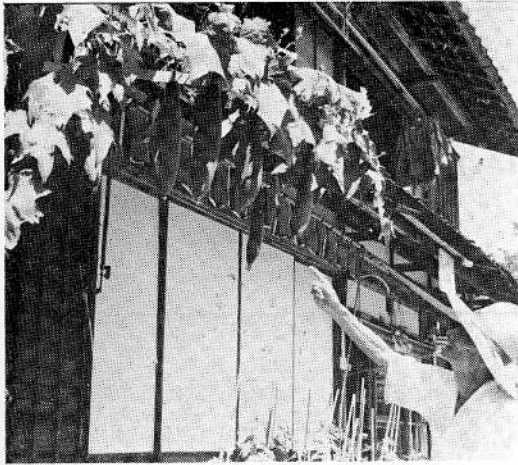
◆今月の料理◆

即席五目そば(四人分)

材料 干し中華そば：四玉
干しいたけ：四枚・キャベツ：四枚(百二十g)・玉ねぎ：二個・にんじん：少量・さやいんげん：少量
むきエビ：五(六尾)・油：小さじ二杯・湯：大きじ三杯・塩：小さじ1/2強・こしより：少量

作り方

- ①干し中華は湯でておく。
 - ②しいたけはもどして、キャベツ・玉ねぎ・にんじんとともに一センチ幅のざく切り、さやいんげんは斜めに細かく切る。
 - ③むきエビは湯でもどして殻をとる。
 - ④鍋に油を熱して野菜をいため、むきエビと湯を加え、塩・こしょうで調味し、煮立ったらそばを入れて仕上げる。
- お好みにより焼き豚・イカ・ハム・豚肉・いり卵・固ゆで卵などを入れるといっそうおいしくいただけます。



ひとつのツルに 6個のヘチマ

ひとつのツルから6個のヘチマがなった
——と不思議がっているのは、神付の安江
正文さん。

安江さんは、近くでもらったヘチマを植
えられたところ、ツルがどんどん伸びて軒
先にたくさんのヘチマがなったそうです。

「初めてヘチマを作ったのでくわしいこ
とはわからないが、こんな多産系のヘチマ
の話は聞いたことがない」と、自慢のヘチ
マを指さして得意顔の安江さん。(写真)

トピックス トピックス

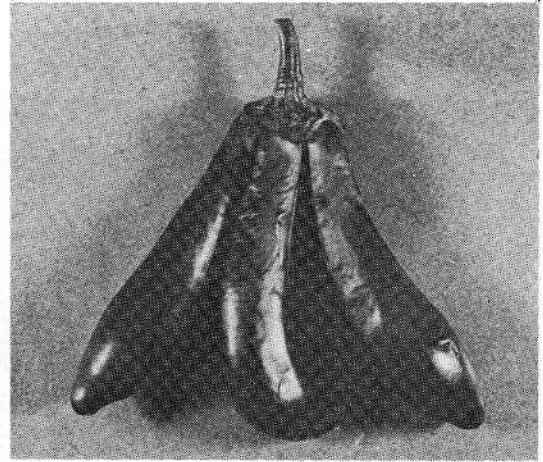
まるで“バナナ”、 突然変異したナス

ひとつのヘタから3つに分かれたナスがと
れました。

ナスの突然変異したものは前号でも紹介し
ましたが、今回のものもちょっとめずらしい
もの。見つかったのは、宮代の今井保さん
方。

こうした変わった野菜が、ことしはとくに多
く見られるようですが、やはりことしの異常
気象が影響しているのでしょうか。

＝写真＝は、ひとつのヘタから3つに分かれ
た“バナナ”のようなナス。



あなたの作品を
お寄せください
・初心者、とくに若
い人たちの投稿を
歓迎します。
・毎月末までに神土
田口良三宛に出
してください

梅雨あけの青空高く澄む庭に紅牙えざえと立葵咲く
冷夏ゆえ鳴く日和なくこの蟬の屍は落ちて蟻に引かるる
窓あけて胡爪を刻む厨べに憂ひなきごとしわれの一日
上簾を終りて用なき老ながら朝まだきより蚕室を覗く
老人をいたわり給ふ村長のあつき心に如何に報ひん
夜ごと出る猪を追はんと田の畦に主に似たる案山子立ち
内職をつづけて五年老の坂身に沁む晩秋山の講の朝
夕立の去りて静けき軒下に殻を脱ぎたる蟬青々し
こほろぎは黒水昌の如く生れ敷草の上をころげ逃げゆく
送り火を消せばみ霊の衣ずれかかすかに揺れてそよ風の
去る
晩酌をひかえてソフトに出づる夕べ弾む心に子等が笑へ
たをやかに萩は咲きをり病院に人を見舞へば窓より見え
老人クラブの笑顔の中に軽やかにゲートボールの音はひ
びきつ
休耕の荒田が増えて年毎に猪も狸も里に出て来る
半生を地べた這ひつづ曲りたるこの腰なれど焼けば伸び
んか
前月号正誤・印正 作者 三戸きり かかりけり
安江澄 目黒日魚 葉菜 田口良三 竹空低空